

えびな・九条の会

会報119号
事務局
〒243-0426
海老名市門沢橋2-16-1
TEL/FAX 046(238)0892

現在の会員数
238名
カンパ随時受付
16年度累計
11人 43,000円
郵便振込先
(記号番号:
00200-4 60906
加入者 えびな・
九条の会)

戦争法廃止・4市 (海老名・綾瀬・座間・大和) 共同市民の会 ―活動報告―

伊藤真講演会 「安倍政権がめざす 憲法とは？」

(2016年11月19日夕・大和シリウス)

来たるべき総選挙での野党共闘実現へ向けての環境構築と、アベ政治の野望に改憲についての学習を目的としたこの会合は、会場一杯の百五十人(海老名からは十数名)参加、野党3党代表の連帯挨拶(自由党はメッセージ)で盛り上がり、大成功でした。



講演する伊藤真さん

会共同代表の一人―私の開会挨拶を
下掲します。
「海老名では「えびな九条の会」が10年を越えて、月一回の街頭駅頭の宣伝・署名活動を続けているのですが、いまは、毎月19日に「安倍法廃止・海老名共同行動市民の会」の構成組織として、それを続けております。今日の午後海老名駅頭にて、甘利明議員辞職要求署名獲得を軸に16人の人が宣伝活動をしました。私もその一人として「幹旋利得」600万円 甘利議員は辞職を」などと書いたこのプラカードを掲げて署名活動をしました。



「えっ！甘利辞職？」と一人の男性が駆け寄ってきました。「いや、辞職を要求する署名をお願いしています。」と説明。「当然だ！」とおっしゃるので、「是非署名を！」と再度よびかけましたが、

「いや、ちよつと」と立ち去りました。このように署名獲得には難しい点もあります。だが「4市共同市民の会」全体として、現在までに5千名の署名を獲得しました。12月2日にはそれをもって自民党本部と議員会館甘利事務所に要請する活動をいたしました。



左から野村、高橋、畑野(共産党) 齋藤(民進党) 太
木村(社民党) 下山の各氏

さて、われわれが立ち向かっているアベ政治は、戦前日本への復古思想と現代資本主義政治の柱を成す新自由主義(ネオリベ)と新保守主義(ネオコン)との混合物です。19世紀イギリス典型の

カンパありがとうございます
心からお礼申し上げます
山崎久美
(敬称略)

自由主義は封建的規制を取り払う歴史進歩の思想でした。企業間競争はドングリの背比べ的競争で、社会の生産力を押し上げました。しかし新自由主義が取り払おうとする規制は、労働者や業者が生活と営業を維持向上するために資本主義の内部から構築された制度です。大独占体と小零細企業間の自由競争の勝負は最初から明らかです。日本全国の商店街がシャッターダウンの風景になってしまいました。労働市場における売り手労働者の不利をカバーする労組規制力の衰退は、結局に国民経済の衰退となります。新自由主義は歴史反動の思想なのです。その政策に対する国民の抵抗闘争に対して、排外主義に国際紛争の武力解決を志向するネオコンの軍事優先思想が振り掛けられます。こうした、彼我の対抗関係において、われわれ

の側の強力な武器となるのが日本国憲法です。今日の伊藤弁護士講演は、その所以を的確に示されるものと期待しております。」

中村医師講演会

(2017年6月1日夕・大和シリウス)

国際紛争に対してアメリカ主導の武力介入に参加しようとするアベ政治に対して、紛争地民衆の貧困解決こそが、国際貢献だとして、アフガンの用水路建設に献身しているクリスチャンの中村医師の講演会を、大和九条の会と共催で行う。大和九条の会では既に2度、中村講演会を成功させているが、今度は千人の大ホールでやるので、4市共同の会に共催を申し入れてきたのを受け止めた企画です。
(下山房雄)



超満員の参加者

甘利議員辞職要求

(2016年12月2日午前・永田町自民党本部&衆院議員会館甘利事務所)

様々な場所と方法で収集した甘利議員辞職要求署名5400筆近くを提出する行動。これには10名(うち海老名は私、原田さん、依田さんの3名)が参加。署名受け取り拒否門前払いということもあるかと考えつつ臨んだが、自民党には建物敷

関係において、われわれ

秋の川村講演会

感想文より

◆日本国憲法の上に日米地位協定がある。国会、行政、司法の上に日米合同委員会がある。ならず者の自民党政治集団が国会、地方自治体を支配していることを強調すれば危機的状況をより鮮明にしたと思われませぬ。薄茶色が濃い茶色に、やがて黒色になる反知性、反民主勢力を侮ってはならないと思えます。(60代男性)

◆川村俊夫先生は以前から本を読んでいましたが、本人の生の話、とても楽しみにしていました。安倍政権の問題、戦争の総括がされてないことがよく分かりました。しかし、アメリカのパワーバランスの変化など詳細な説明、大きな側からの改憲の動き、よく分かりました。改憲問題どうなるか、野党共闘は現実的に13区でできるのか不安でしたが、先生の話で課題がはっきりして元気づけられました。(60代 女性)

市民発・平和の集い

『沖縄戦と虐げられた沖縄の歴史』

三谷裕美子

11月23日文化会館120サロンで上記のテーマで沖縄出身の宮里政充さんに語って頂いた。宮里さんは、1939年生まれ、沖縄戦時6歳。ガマの中に隠れていた時に2人の米軍に見つかり捕らえられる。6歳で死を覚悟しなければならなかった。現在を生きる私には、想像を絶する恐怖。怒りを乗り越えて深い深い悲しみ。米兵から手渡された一粒のキャラメル。これを食べて死ぬのだと思ったが、とろける甘さは、生まれて初めて口にする美味しさだった。毒が盛られていると思った大人たちも誰ひとり死ぬことはなかった。

収容所に入れられた宮里少年は、生き残った。もう逃げも隠れもする必要がなくなった安堵。しかし、収容所では、多くの方がマラリアに罹り死んだ。宮里さんもマラリアになったが、生き抜き、今につながる。高校教師を経て、現在は、沖縄へ修学旅行に行く高校生たちに沖縄戦や沖縄について語る活動をされている。

沖縄は、薩摩藩による琉球征伐の頃から現在に至るまで、常に日本の支配下に置かれた。今もなお、広大な土地を接収され、米軍基地の負担を余儀なくされている。少女たちへのレイプ、傷害事件、交通事故は、今なお絶えることがない。「基地があることで平和がもたらされていると言うなら、自分たちの近くへ基地を誘致して下さい。」宮里さんの問いかけに答える県は全国に一つもない。「基地があるから日本が守られているか? 否、基地があるから様々な問題が起き、より一層沖縄は、危険にさらされている。戦争をして国が国民を守ったと言う話は聞いたことがない。」と。その通りだと思う。

参加者のアンケートには、宮里さんの平和への思いが伝わる言葉が連なり「平和とは何か」「平等とは何か」「民主主義とは何か」を考えるきっかけとなった。沖縄の未来に基地の金網が消える日こそ、真の平和が訪れる。私たちに何が出来るか、考えたい。

やすかった。2部の話が盛り沢山過ぎて自分自身でまだ十分理解できていないため少し難しかったが、アメリカよりの今の安倍さんのやり方には納得がいけない。社会保障費を減らし軍備費に何兆円もの税金を使うのは反対していかないといいないし、九条を守って平和な国であることを推し進めてゆく。確かに北朝鮮や中国など難しい国が隣にあるのは不安だけど、武器を持たない国に対しては攻撃してこないのではないかと信じているの

だが。(70代 女性) ◆具体的な例が挙げられていて大変わかり易かったと思います。とても有意義なお話でした。憲法改悪が現実のものとなり世の中が不穏な状況になりつつありますが、国民一人ひとりが自分のこととして、しっかりと考えていく必要があると改めて感じました。(40代男性)



海老名駅自由通路訴訟 強権訴訟指揮で結審

12月12日に行われた横浜地裁第3回弁論で突然結審となり、判決日が指定されました。

この日、被告・海老名市側から初めて反論の準備書面が出され、それに対する原告の反論や従来から原告側が求めていた資料提出命令の問題があるにもかかわらず、それらを認めず、突然結審としたのです。

代理人の大川隆司弁護士がそれらについて主張している最中に、大久保正道裁判長が発言を遮って「それは裁判所が判断する。判決日は3月8日・・・」と言って席を立ち法廷を後にしました。

傍聴席からは一斉に抗議の声が上がりました。このような異常でひどい訴訟指揮に抗議するとともに勝利判決を勝ち取るために支援を強めましょう。

(国民救援会神奈川県本部 事務局ニュース より)

事務局から

(E-mail aoooyama@m4.dion.ne.jp)

1月の世話人会議は1月20日(金)13時30分～海老名市文化会館255創造室。

1月19日(木)15時～16時(安保法廃止海老名共同行動市民の会)海老名駅頭宣伝行動が取り組まれます(自衛隊に南スーダンから撤退を求める署名をとります)。

各自ゼッケンやプラカードを持って大勢で参加しましょう。

今月の会報に上記署名用紙を同封しました。年末年始は人に会う機会も多いと思います。署名用紙を手元に用意して多数集めましょう。世話人が事務局に届けてください。

お詫びと訂正 会報118号への投稿文「TPPの恐ろしさについて一緒に考えよう」の筆者名は「谷口ゆうこ」は間違いで正しくは「谷口かおる」でした。お詫びして訂正します。